

# た ち ば な



## 水ぶし 寶清寺

いが取れないので日蓮聖人の銅像を四天王の銅像と同色に塗り替えることにし、その費用に充当させて頂きました。

◎七面堂を囲む漆喰の塀の寄付  
たちばな新聞五十七号に匿名で七面堂の寄付をされた方の報告をさせて頂きました。同じ方から再度、七面堂を囲む漆喰の塀をご寄付頂きました。

### 新しい年を迎えて

昨年、司馬遼太郎著「21世紀に生きる君たちへ」という素晴らしい本に出会った。内容の一部を紹介すると、『原始時代の社会は小さかった。家族を中心とした社会だった。それが次第に大きくなり、今は、国家と世界という社会をつくり、たがいに助け合いながら生きていけるのである。自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくりだされていない。このため、助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。助け合う気持ちや行動のもともとは、いたわりという感情である。他人の痛みを感じることを言ってもいい。やさしさと言いかえてもいい。

情が、自己の中でしつかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちもわきでくる。』とある。これは小学校用の教科書のために書き下ろしたものだそう。昨年、いじめによる自殺が大きな社会問題としてクローズアップされた。人は何時から人を思いやる気持ちを失ってしまったのだろうか。

先代住職の代より毎年大晦日にお檀家の皆様と除夜の鐘を突き、新年の祈禱をして参りました。たちばな会館が出来、鐘樓を休憩所付近に移転した後も甘酒をつくり、総代や有志の方々の協力により実施して参りましたが、お檀家の皆様の参加が年々減り、現在は、近所の方を合わせても二十数名の参加となっております。早い時間から総代や有志の方々が準備をし、後片付けが終了するのは午前三時頃になります。また、元日は早朝より初詣の方々が新年の挨拶にお見えになります。そうした事柄から除夜の鐘の行事を中止することに致します。

◎当山で撮影された「ハゲタカ」放映  
平成十八年七月四日に当山本堂及び境内でNHKのドラマ「ハゲタカ」の撮影が柴田恭兵・栗山千明他を迎えて行われました。当初は九月二日(土)PM九時からの放映の予定でしたが、柴田恭兵が肺ガンのため入院した関係で、放映が延期になっていましたが、柴田恭兵が退院し撮影が再開され二月十七日(土)からNHKで、PM九時より毎週土曜日連続六回の放映が決定しました。当山で撮影したシーンの放映は二十四日(土)PM九時からです。放映の折りは是非ご覧下さい。

### 身延山五重塔寄付報告

お陰様で身延山五重塔のご寄付が目標額の五百万円を超え、五、四二七、〇〇〇円になりました。皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。浄財は昨年四月に三百万円、十二月に二百万円、合わせて五百万円を矢崎慎次・青木正幸両総代と二回に分けて身延山に参拝し奉納して参りました。余剰金につきましては、総代と相談の結果、日蓮聖人の銅像の汚れが目立つようになり、四天王との釣り合

市内在住の高木源一氏夫妻が奉納された四天王銅像は平成十八年十二月八日に、日蓮聖人の銅像を囲むように安置され、周辺の工事も完成しました。四天王は、須弥山の中腹の四面に住んで、各々天下を護る四王のことで、護世四天王とも言われています。日蓮聖人銅像の右奥(東方)に安置された持国天王は水火の災いを除き、右手前(南方)の増長天王は衆病を消除し、左奥(北方)の毘沙門天王は夜叉の害を除き、左手前(西方)広目天王は怨敵の難を退け、十方を清浄してくる神々として、広く諸経に説かれ信仰されてきました。ことに、毘沙門天王は「四天下第一の福天」として独立して信仰され七福神の一に加えられています。日蓮聖人も、法華経の守護神として崇敬しており曼荼羅の四隅に四天王が書かれています。特に、当山のように、自然石の上に日蓮聖人を囲むように四天王が安置され、日蓮聖人直筆のお曼荼羅のお題目を模して作られた幡が祭られているのは全国約五千カ寺の日蓮宗の寺の中で唯一宝清寺だけです。高木源一夫妻に感謝すると同時に、皆様が墓参の折りや祈願をされる時、是非お参り下さい。

◎管理料自動振替の方へお願い  
平成十九年度の管理料自動払い込みは三月二十五日引落になっていきますので、近くなりましたら残高をご確認下さいませようお願いします。

### 日蓮聖人遺訓

「我等が心の内に父をあなずり母をおろそかにする人は地獄その人の心の内に候」  
(重須殿女房御返事)

地獄というものを私と無縁なものと考えがちですが、親や人をないがしろにする人のこのころの中にこそ地獄はある。それは感謝する心がないからである。

### 住職の口法

市内在住の高木源一氏夫妻が奉納された四天王銅像は平成十八年十二月八日に、日蓮聖人の銅像を囲むように安置され、周辺の工事も完成しました。四天王は、須弥山の中腹の四面に住んで、各々天下を護る四王のことで、護世四天王とも言われています。日蓮聖人銅像の右奥(東方)に安置された持国天王は水火の災いを除き、右手前(南方)の増長天王は衆病を消除し、左奥(北方)の毘沙門天王は夜叉の害を除き、左手前(西方)広目天王は怨敵の難を退け、十方を清浄してくる神々として、広く諸経に説かれ信仰されてきました。ことに、毘沙門天王は「四天下第一の福天」として独立して信仰され七福神の一に加えられています。日蓮聖人も、法華経の守護神として崇敬しており曼荼羅の四隅に四天王が書かれています。特に、当山のように、自然石の上に日蓮聖人を囲むように四天王が安置され、日蓮聖人直筆のお曼荼羅のお題目を模して作られた幡が祭られているのは全国約五千カ寺の日蓮宗の寺の中で唯一宝清寺だけです。高木源一夫妻に感謝すると同時に、皆様が墓参の折りや祈願をされる時、是非お参り下さい。